

U-Cable type D3

ユーザーズマニュアル 通信編

目次

WindowsXPでインターネットに接続する	
インターネットに接続する	3
WindowsMe/98SEでインターネットに接続する	
ダイヤルアップネットワークを登録する	15
接続方法	21
Windows2000でインターネットに接続する	
インターネットに接続する	23
接続方法	29
MacOS Xでインターネットに接続する	
インターネットに接続する	32
「ネットワーク」の設定をする	33
「Internet Connect」(または「インターネット接続」)を起動する	40
Mac OS X これはどこにあるの?	41
MacOS 9.2/9.1でインターネットに接続する	
インターネットに接続する	43
付録	
ATコマンドの入力方法	50
ATコマンド設定一覧表の見方	50
Sレジスタ設定一覧表	53
リザルトコード一覧表	53
トラブル対処法	54

正しく安全にお使いいただくために、ご利用の
前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

WindowsXPでインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

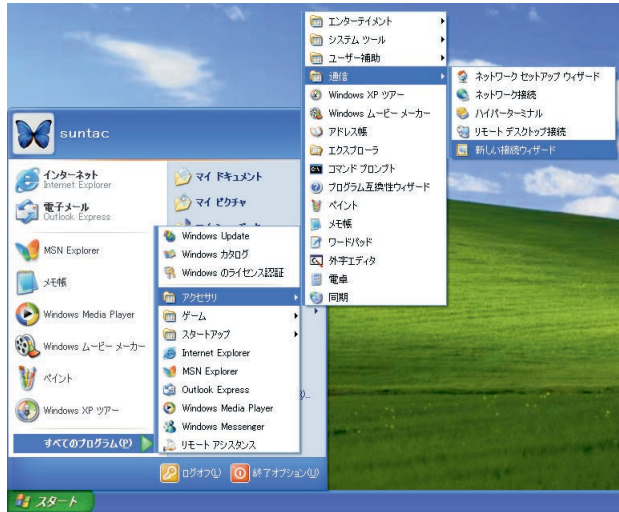
- 1 ネームサーバー（DNS）のIP アドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

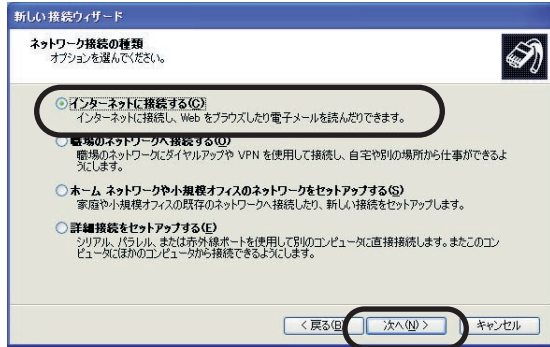
- 1 「スタート」の「すべてのプログラム」の「アクセサリ」の「通信」の「新しい接続ウィザード」をクリックします。



- 2 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。



- 3 「ネットワーク接続の種類」では、「インターネットに接続する」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。

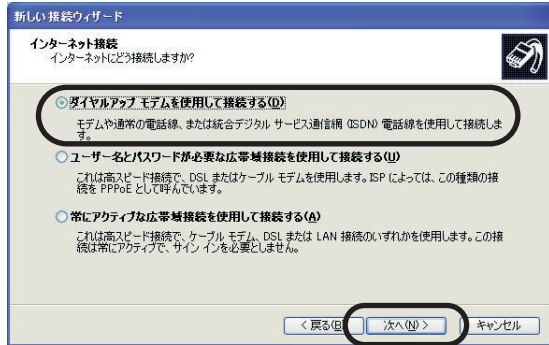


- 4 「準備」では、インターネットの接続設定をどのようにして行うかを選択します。ここでは、手動で設定する方法をご説明しますので「接続を手動でセットアップする」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。



5 インターネットへの接続方法を選択します。

電話機を使用して通信する場合、プロバイダのアクセスポイントに電話をかけて通信を行いますので「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。

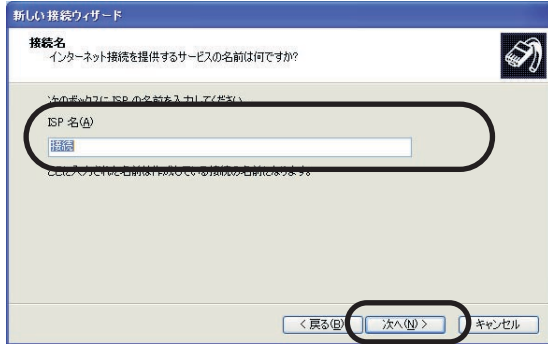


6 デバイスの選択画面が開かれた場合には「モデム-SUNTAC U-Cable」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。

(この画面が表示されない場合もあります。)



- 7 「接続名」では、これから作成する接続設定に名前をつけます。
- 「ISP名(A)」の入力欄に接続先プロバイダ名など分かりやすい名前を入力し[次へ]ボタンをクリックします。(例では「接続」という名前を入力しました。)



- 8 アクセスポイントの電話番号を入力します。
アクセスポイントの電話番号をすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。

入力が完了したら [次へ] ボタンをクリックします。

新しい 接続ウィザード

ダイヤルする電話番号
ISP の電話番号を指定してください。

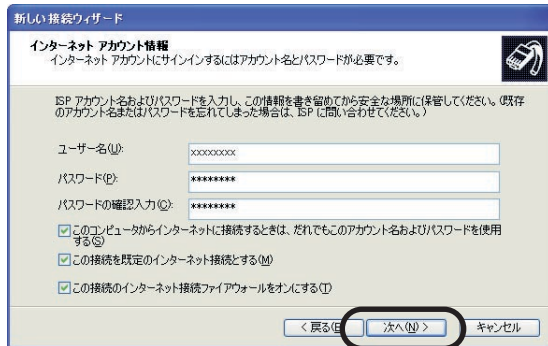
下に電話番号を入力してください。

電話番号 (P):
xxxxxxxxxxxx

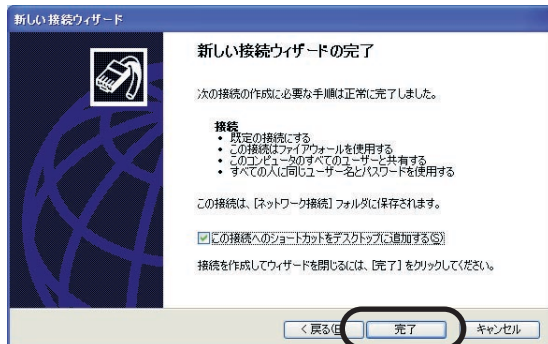
特別番号は市外局番が必要な場合があります。このため、必ず、電話番号の電話番号にダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が止まります。

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

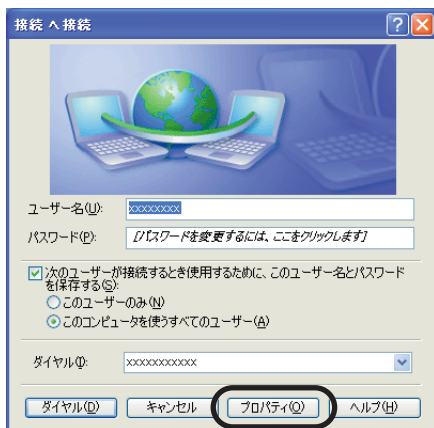
- 9 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。
(「パスワード」は画面上ではすべて「*」で表示されます。)
各チェックボックスは、必要に応じて設定を変更してください。入力が完了したら [次へ] ボタンをクリックします。



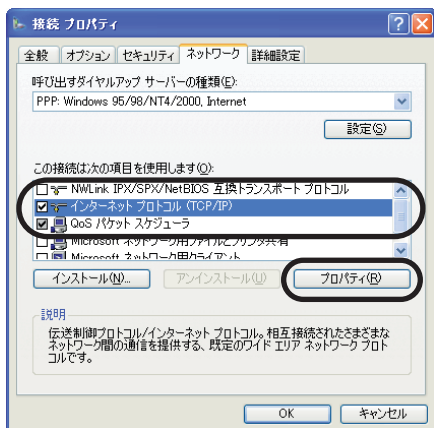
- 10 新しい接続に必要な情報の入力が完了しました。
「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックをつけると、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。
(ショートカットを作りたい場合はチェックをしてください。)
[完了] ボタンをクリックします。



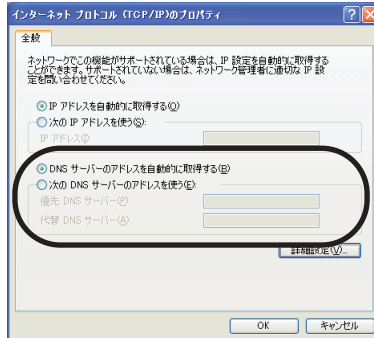
- 11 「ダイヤルアップ接続への接続」画面が自動的に開きます。
[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 12 「ネットワーク」タブをクリックします。
「この接続は次の項目を使用します」のインターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックをつけて、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 13 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
[次のDNSサーバーのアドレスを使う] を選択し、接続先プロバイダのDNSを入力します。プロバイダによって設定が異なりますので、確認して設定してください。



- 14 [OK] ボタンを数回クリックして、接続の画面が表示されたら、設定は完了です。

接続方法

- 1 「スタート」の「接続」をクリックし、先ほど作成した接続設定をクリックします。



- 2 [ダイヤル] ボタンをクリックするとダイヤルを開始します。



プロパティの変更が必要な場合、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じてください。

(一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。)

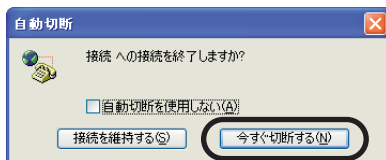
設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。

- 3 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。

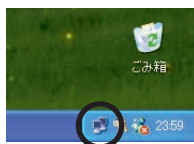


切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は [今すぐ切断する] ボタンをクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して [切断] ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

WindowsMe/98SEでインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

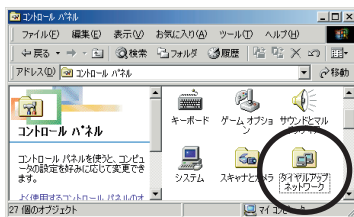
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

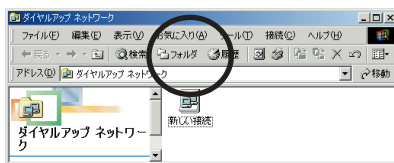
プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

プロバイダの登録

- 1 WindowsMeの場合は、「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。
Windows98SEの場合は、「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。

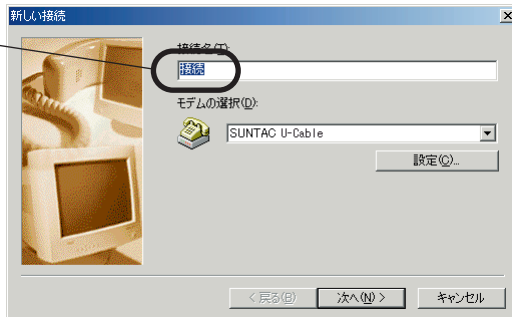


- 2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。

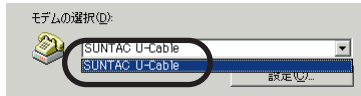


- 3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

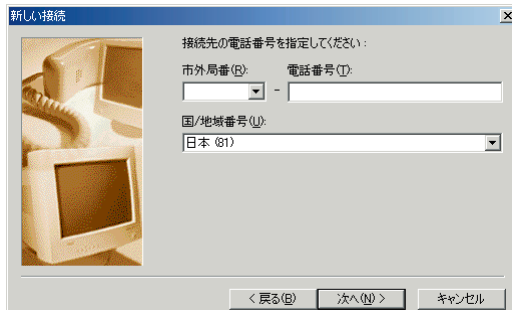
接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。



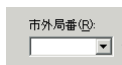
- 4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「SUNTAC U-Cable」をクリックして、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。



- 6 「市外局番」は空白にしておいてください。

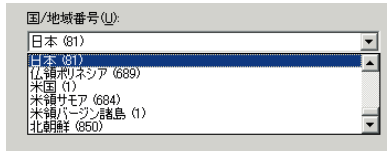


- 7 電話番号の欄にアクセスポイントの電話番号をすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。

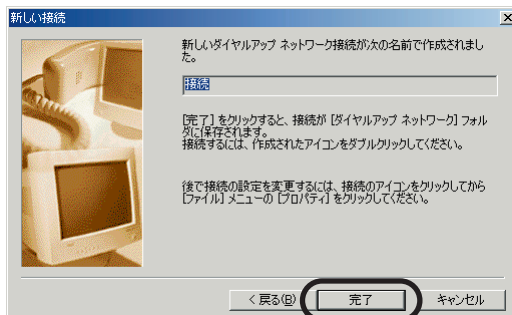


(XXXXXXXXXXは接続先の電話番号です。)

- 8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本(81)」を選択してください。



- 9 [次へ] ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。

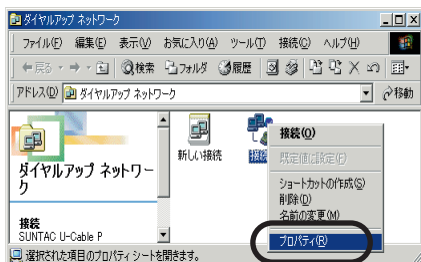


- 10 [完了] ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

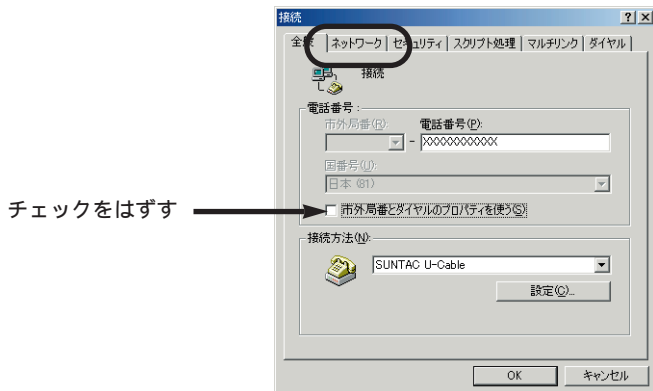
プロバイダの設定

登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

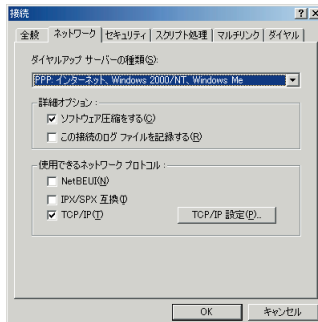
- 1 新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。



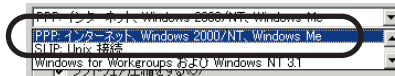
- 3 接続先の情報設定画面が開きます。「国番号と市外局番を使う」のチェックを外し、「サーバーの種類」タブまたは「ネットワーク」タブをクリックしてください。



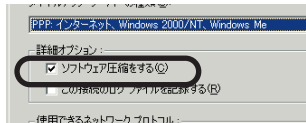
- 4 「サーバーの種類」または「ネットワーク」の設定画面が表示されます。



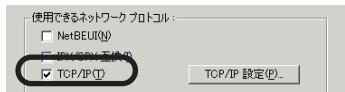
- 5 「サーバーの種類」プルダウンメニューの中から Windows Meでお使いの場合は「PPP:インターネット、Windows2000/NT、WindowsMe」を、Windows98SEでお使いの場合は「PPP:インターネット、WindowsNTServer、Windows98」を選択してください。



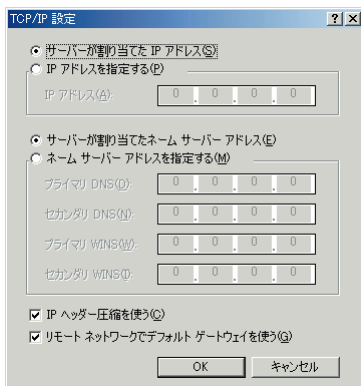
- 6 「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。



- 7 「使用できるネットワークプロトコル」の中から「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。



- 8 [TCP/IP設定] ボタンをクリックしてください。
「TCP/IP設定」画面が表示されます。



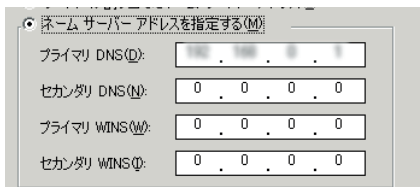
- 9 IPアドレスは、「サーバが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。

サーバが割り当てた IP アドレス(S)

- 10 名前サーバアドレスは、「名前サーバアドレスを指定する」にチェックを付けてください。

名前サーバアドレスを指定する(M)

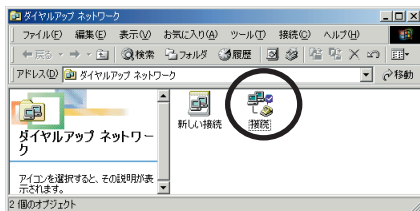
- 11 「プライマリDNS」入力欄にプロバイダから通知された名前サーバ（DNS）のIPアドレスを入力してください。



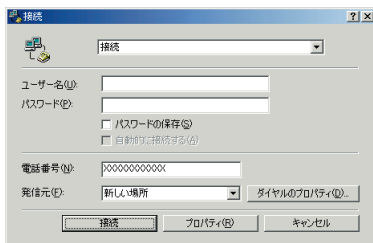
- 12 [OK] ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。
ここで登録した接続のアイコンができています。

以上で、ダイヤルアップネットワークのインストールは完了です。

- 1 先程の設定で作成したアイコン（接続など）をダブルクリックしてください。



- 2 接続先のダイアログボックスが表示されます。



- 3 「ユーザー名」に接続先のプロバイダの接続アカウント（ログイン名）を入力してください。



「パスワード」に接続先のプロバイダのパスワードを入力してください。



- 4 [接続] ボタンをクリックしてください。接続が始まります。

5 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。



ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。

切断

回線を切断する場合は、タスクバーのアイコンをダブルクリックします。



表示された画面の [切断] ボタンをクリックしてください。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

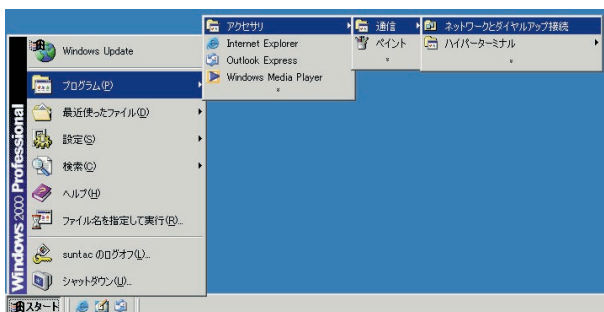
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

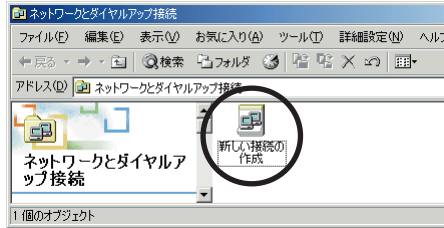
プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

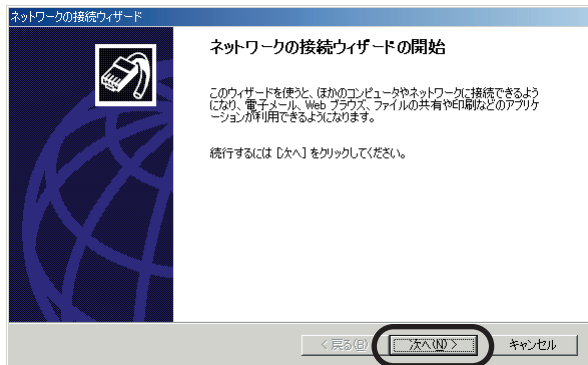
- 1 「スタート」 - 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「通信」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



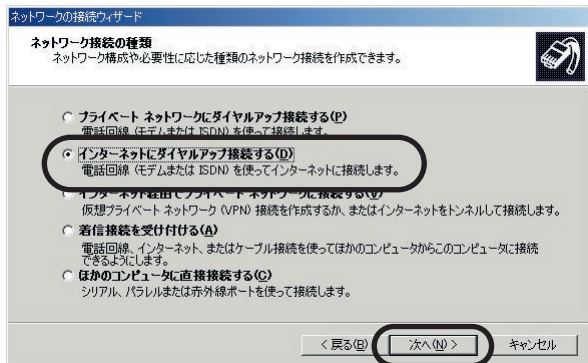
2 「新しい接続の作成」をダブルクリックしてください。



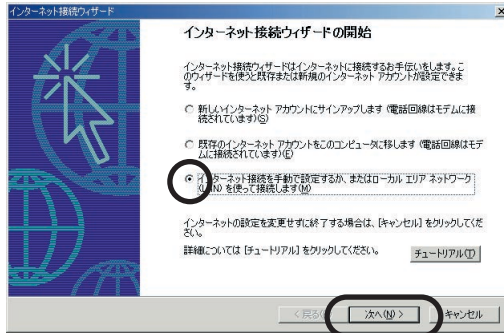
3 「ネットワークの接続ウィザード」が開始されます。
[次へ] ボタンをクリックしてください。



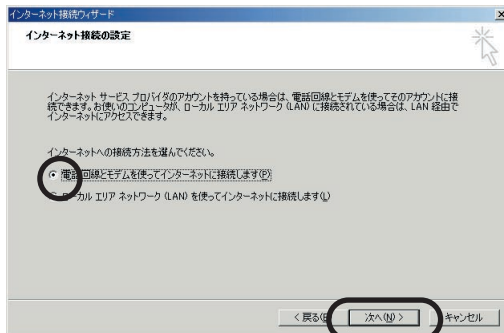
4 「インターネットにダイヤルアップする」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックしてください。



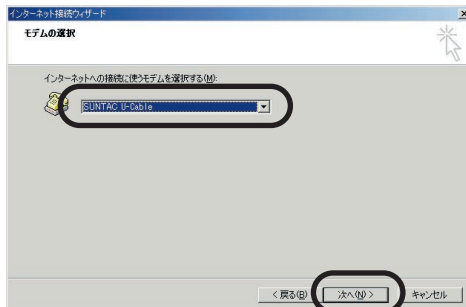
- 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します」にチェックの上、[次へ] ボタンをクリックしてください。



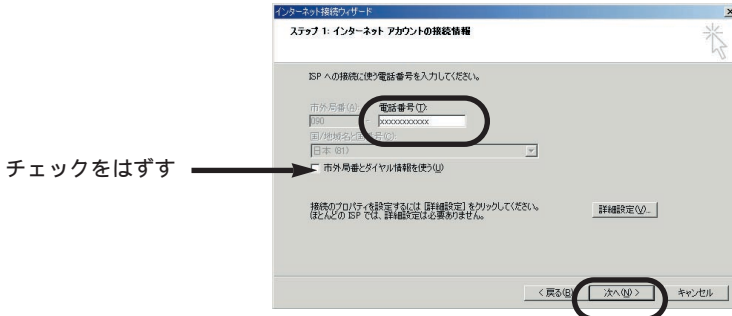
- 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」にチェックの上、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 7 モデムの選択で「SUNTAC U-Cable」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 8 「電話番号」にアクセスポイントの電話番号をすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力してください。



携帯電話の場合、市外局番から設定した方が望ましいため「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックをはずして、電話番号の欄に市外局番から入力してください。

- 9 ユーザー名、パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

インターネット接続ウィザード

ステップ 2: インターネット アカウントのログイン情報

ISP へのログインに使うユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名は、メンバ ID またはユーザー ID と同じです。ユーザー名またはパスワードがわからない場合は、ISP に問い合わせてください。

ユーザー名 (U): xxxxxxxx

パスワード (P): xxxxxxxx

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

- 10 接続名を記入して、[次へ] ボタンをクリックしてください。接続名は契約プロバイダ名など判りやすいものが良いです。

インターネット接続ウィザード

ステップ 3: コンピュータの設定

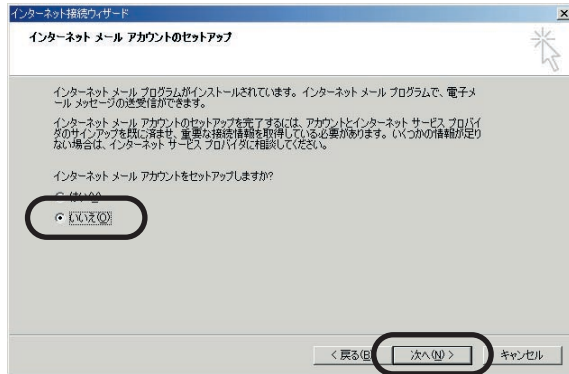
インターネットのアカウントに関する情報は、ダイヤルアップ接続として、指定した名前と一緒に表示されます。

ダイヤルアップ接続の名前を入力してください。ISP の名前でも、自分の好きな名前でもかまいません。

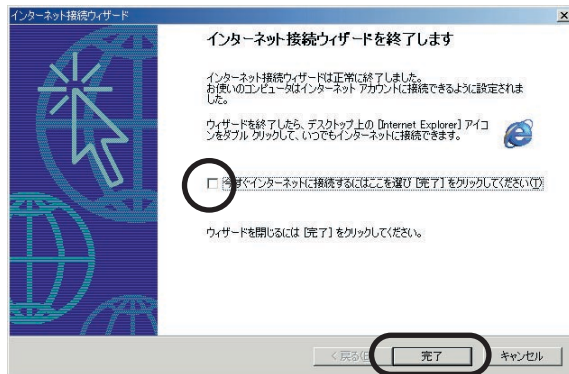
接続名 (C): 接続

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

- 11 「メールアカウント」を設定する必要がある場合、上記画面で[はい] ボタンをクリックした上で、[次へ] ボタンをクリックして、メールアカウントの設定を行ってください。本例では、メールアカウントの設定は省略します。



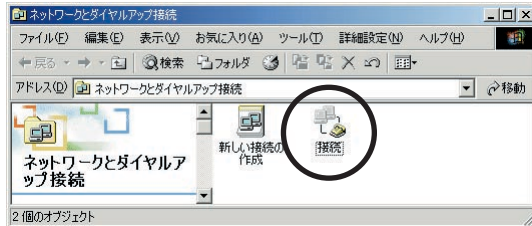
- 12 「今すぐ・・・」のチェックをはずした上で、[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了します。



以上でダイヤルアップ接続の作成は完了です。

接続方法

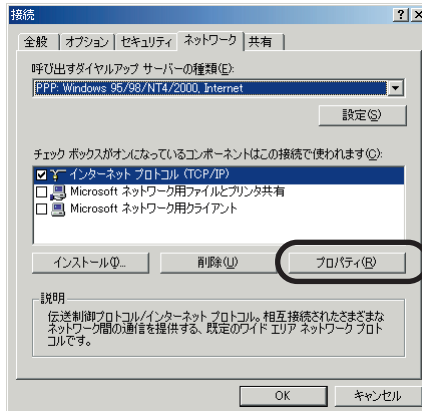
- 1 ダイアルアップ接続の作成で作成したアイコンをクリックし、「ファイル」 - 「プロパティ」をクリックして、プロパティを表示します。



- 2 プロパティの中で、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じてください。(一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。)

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックが付いていることを確認しプロパティをクリックします。



- 3 プロパティの設定が完了したら、接続先のアイコンをダブルクリックして接続画面を表示してください。[ダイヤル] ボタンをクリックすると、接続が開始されます。

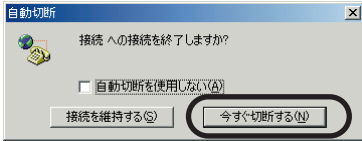


- 4 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。

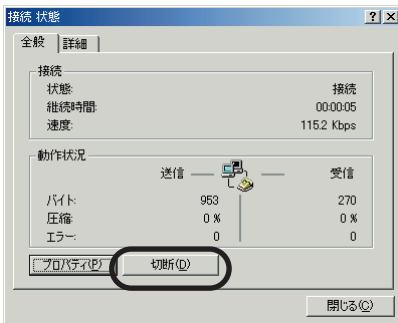


切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は [今すぐ切断する] ボタンをクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して [切断] ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

MacOS Xでインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「アカウント名」とも表現されています。）
- 5 パスワード

「ネットワーク」の設定をする

Mac OS Xでは、色々な設定は基本的に「システム環境設定」で行います。

- 1 「Appleメニュー」の「システム環境設定...」をクリックします。



- 2 「システム環境設定」画面が開きますので、「ネットワーク」アイコンをクリックします。



3 「ネットワーク」では以下の項目を設定します。

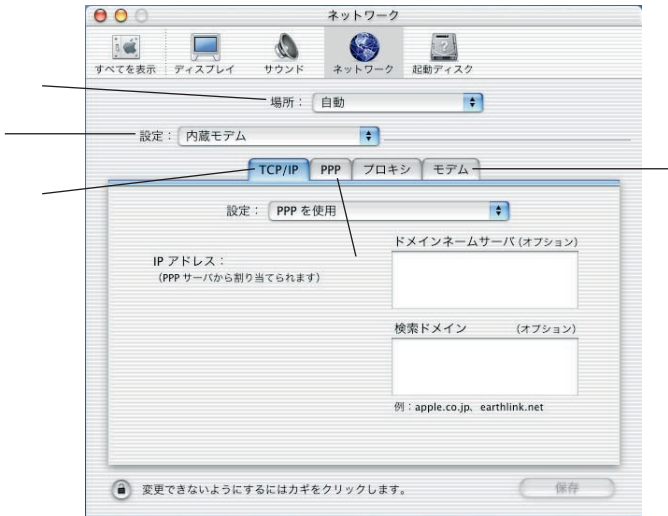
「場所：」の設定（「新しい場所」を作る）

「設定：」から「USB モデムU-Cable」（または「SUNTAC U-Cable」）を選択する

「TCP/IP」の設定（ドメインネームサーバーを設定する）

「モデム」の設定（CCLファイル「SUNTAC U-Cable」を選ぶ）

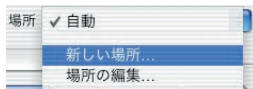
「PPP」の設定（接続先の情報を入力する）



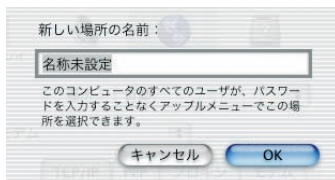
（「ネットワーク」の初期画面）

「場所」の設定（「新しい場所」を作る）

- 1 「場所：」メニューから「新しい場所...」を選択し、クリックします。



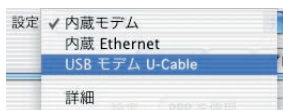
- 2 「新しい場所の名前」のダイアログ（画面）で、接続先プロバイダ等の名前を入力し、(OK)ボタンをクリックします。
入力する名前は、わかりやすい名前にしておくとい良いでしょう。



「新しい場所」で入力した名前は、「場所」メニューの「場所の編集」で、後から名前を変えることもできます。

「設定」から「USB モデムU-Cable」(または「SUNTAC U-Cable」)を選択する

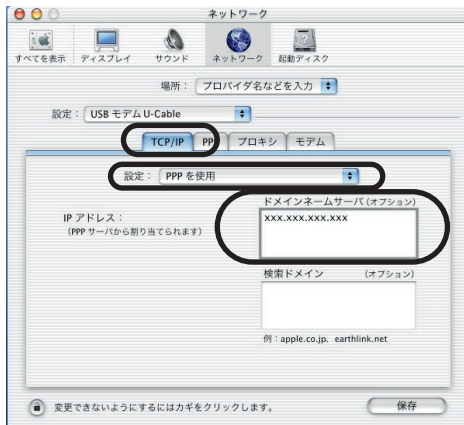
- 1 「設定：」メニューから「USB モデムU-Cable」(または「SUNTAC U-Cable」)を選択し、クリックします。



「設定」メニューに「USB モデムU-Cable」(または「SUNTAC U-Cable」)が表示されない場合は、「システム環境設定」をいったん終了します。「設定の変更点を保存しますか？」のメッセージには(保存する)ボタンをクリックします。Macintoshと本製品の接続を確認してから、再度「システム環境設定」を起動します。もう一度「設定：」メニューを開き、「USB モデムU-Cable」(または「SUNTAC U-Cable」)を選択します。

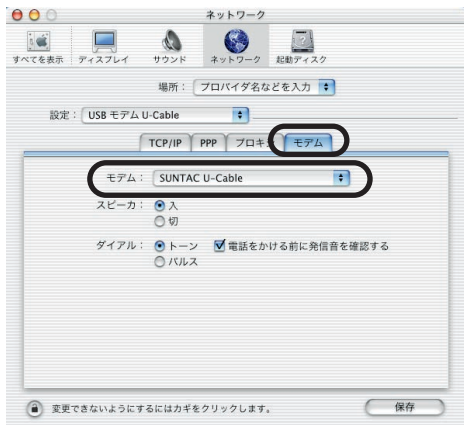
「TCP/IP」の設定（ドメインネームサーバーを設定する）

- 1 「TCP/IP」タブをクリックします。
 「TCP/IP」タブ内の「設定：」メニューは、「PPPを使用」を選択し、クリックします。
 「ドメインネームサーバー（オプション）」の入力欄に、DNSを入力します。



「モデム」の設定（CCLファイルを選ぶ）

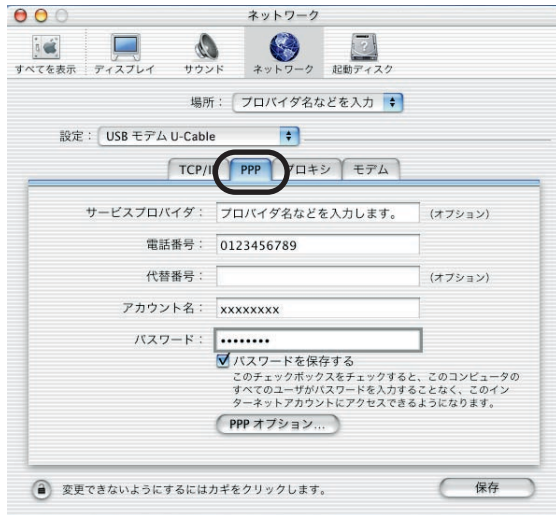
- 1 「モデム」タブをクリックします。
 「モデム」タブ内の「モデム：」メニューをクリックし、一覧の中から「SUNTAC U-Cable」を選択し、クリックします。



「ダイヤル：」は、「トーン」を選択しておきます。
 （携帯電話の回線を利用して通信する場合、「トーン」となります。）

「PPP」の設定（接続先の情報を入力する）

1 「PPP」タブをクリックします。



サービスプロバイダ：「場所」と同様に、接続先プロバイダ名などを入力します。

電話番号：接続プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号はすべて半角英数字で市外局番から「-（ハイフン）」を入れず続けて入力します。

代替番号：通常は入力する必要はありません。

アカウント名：プロバイダに接続する際の、接続アカウントを入力します。

すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード：プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。

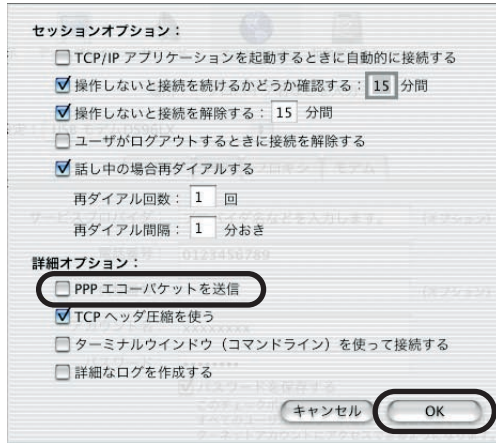
すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

「パスワードを保存する」のチェックボックスは、パスワードを入力すると自動的にチェックされます。



「パスワードを保存する」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができるようになります。チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

- 2 (PPPオプション...) ボタンをクリックすると、次のようなダイアログ (画面) が開きます。
- 詳細オプションの「PPPエコーパケットを送信」のチェックを外してください。
- その他の項目はプロバイダから「PPPオプション」の設定を変更するよう指示がない場合は、変更の必要はありません。



(OK) ボタンをクリックします。

- 3 以上で「ネットワーク」の設定が完了しました。(保存) ボタンまたは (今すぐ適用) をクリックすると、設定が保存されます。



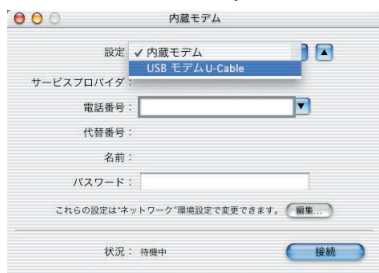
「Internet Connect」(または「インターネット接続」)を起動する

- 1 「Applications」(または「アプリケーション」)の「Internet Connect」(または「インターネット接続」)をダブルクリックします。



Internet Connect

- 2 「設定:」メニューをクリックし、その中から先ほど設定が完了した「USB モデムU-Cable」(または「SUNTAC U-Cable」)を選択し、クリックします。



これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。すべての情報が正しく設定されていれば、次回からは、「Internet Connect」(または「インターネット接続」)を起動してこの設定で **接続** ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「Internet Connect」(または「インターネット接続」)をいったん終了し、U-CableをMacintoshのUSBポートに差し直してください。

再度「Internet Connect」(または「インターネット接続」)を起動し、**接続** ボタンをクリックしてください。

上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintoshを再起動してください。

Mac OS X これはどこにあるの？

「Library」(または「ライブラリ」)フォルダってどこにあるの？

「Applications」(または「アプリケーション」)フォルダってどこにあるの？

「Modem Scripts」フォルダってどこにあるの？

「Internet Connect」(または「インターネット接続」)ってどこにあるの？

すべてはここから



Mac OS Xを起動すると、画面の一番右上に左図のようなハードディスクのアイコンが表示されます。(Mac OS Xの起動ディスクです。)

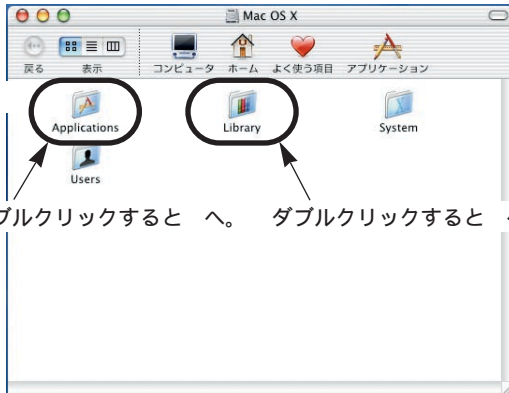
(左の例は、Mac OS Xをクリーンインストールしたときの標準のもので、「Mac OS X」という名前になっていますが、名前を変更することが出来ますので、例とは異なる場合があります。)

このアイコンをダブルクリックし、Mac OS Xの起動ディスクを開きます。

「Library」(または「ライブラリ」)フォルダってどこにあるの？

「Applications」(または「アプリケーション」)フォルダってどこにあるの？

ハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、次のようなダイアログ(画面)が開き、その中に、「Library」(または「ライブラリ」)フォルダ、「Applications」(または「アプリケーション」)フォルダがあることがわかります。



「Modem Scripts」フォルダってどこにあるの？

前ページを参照して、「Library」(または「ライブラリ」)フォルダを見つけ、ダブルクリックします。するとその中に、「Modem Scripts」フォルダがあります。

Macintoshでモデムなどの通信機器を使用するには、その機器用のCCLファイル(設定ファイル)を「Modem Scripts」フォルダの中にコピーする必要があります。



「Internet Connect」(または「インターネット接続」)ってどこにあるの？

前ページを参照して、「Applications」(または「アプリケーション」)フォルダを見つけ、ダブルクリックします。

(または、ダイアログ(画面)の上の欄の「アプリケーション」をクリックします。)

「Applications」フォルダの中に、「Internet Connect」(または「インターネット接続」)というアプリケーションソフトがあります。Mac OS Xでモデムなどの通信機器を使用してダイヤルアップ(電話をかけること)するには、「Internet Connect」(または「インターネット接続」)を使用する必要があります。



インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。

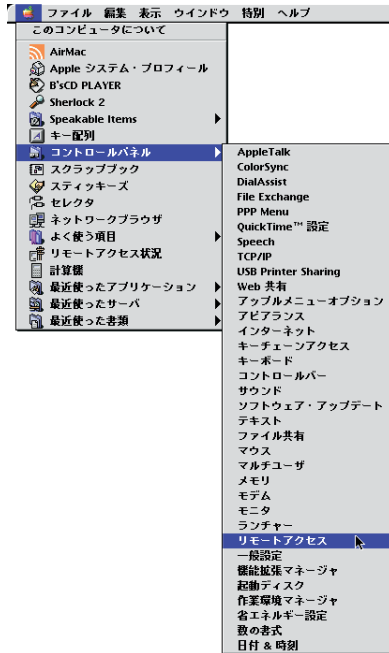
このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス。
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「名前」とも表現されています。）
- 5 パスワード

TCP/IPの設定

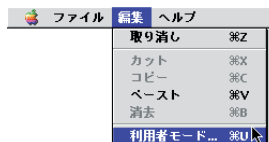
- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「リモートアクセス」を選択し、起動します。



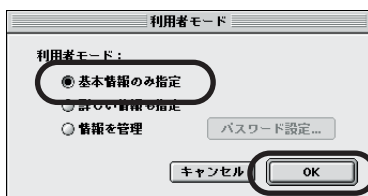
- 2 「リモートアクセス」メニューの「TCP/IP」を選択します。



- 3 「TCP/IP」が起動したら、「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。

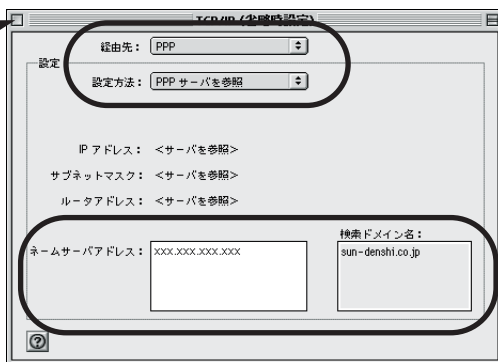


- 4 「基本情報のみ指定」を選択して[OK]ボタンをクリックします。「利用者モード」が閉じます。

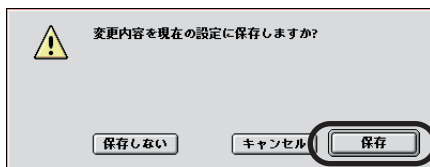


- 5 続いて、「TCP/IP」の設定をします。
「経路先」メニューから「PPP」を選択し、「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。
「ネームサーバアドレス」、「検索ドメイン名」を入力します。

閉じるには
ここをクリック。



- 6 上図の矢印の箇所をクリックすると、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」という下記の画面が開きますので[保存]ボタンをクリックします。「TCP/IP」が閉じます。



モデムの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「TCP/IP」の設定と同様に「リモートアクセス」メニューの「モデム」を選択します。
「モデム」の設定は、必ず本製品だけをUSBポートに接続した状態で行うようにしてください。



本製品以外のCDC対応のUSB通信機器（モデム、通信ケーブル、TAなど）を同時に2種類以上接続した場合、いずれも「USB Modem * * *」（*は数字）と表示されてしまいます。本製品を使用する場合は、他のUSB通信機器を同時に接続しないようにしてください。



U-CableをUSBポートに接続していない状態で「モデム」を選択しても、「経由先」に本製品に該当する「USB Modem * * *」（*は数字）が表示されません。



- 2 「経由先」メニューから、本製品に該当する「USB Modem * * *」（*は数字）を選択し、「モデム」メニューから、「SUNTAC U-Cable」を選択します。
「ダイアル」は「トーン」を選択し、「ダイアルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外してください。

閉じるには
ここをクリック。



上図の矢印の箇所をクリックすると「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「モデム」が閉じます。

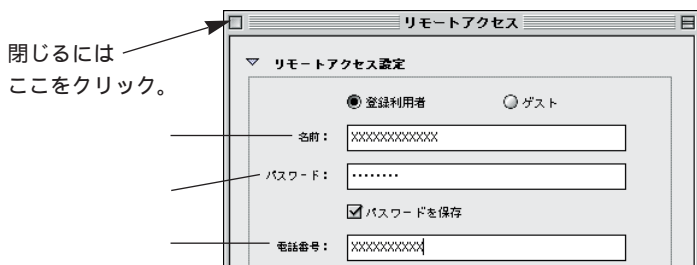
リモートアクセスの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「名前」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

名前 : プロバイダに接続する際の、接続アカウント（ユーザーID やアクセスID）を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード : プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

電話番号 : アクセスポイントの電話番号をすべて半角英数字で、市外局番から「-」（ハイフン）を入れずに続けて入力します。





参考

「パスワードを保存」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができるようになります。チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

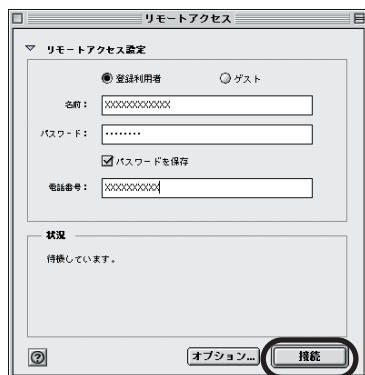
- 2 入力が完了したら、「リモートアクセス」をいったん閉じます。

矢印の箇所をクリックすると（前頁参照）「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので [保存] ボタンをクリックします。「リモートアクセス」が閉じます。

これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。

接続方法

- 1 先ほど設定した「リモートアクセス」を起動して、[接続] ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「リモートアクセス」をいったん終了し、U-Cable をMacintoshのUSB ポートに差し直してください。再度「リモートアクセス」を起動し、[接続] ボタンをクリックしてください。
上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintosh を再起動してください。

切断

回線切断は、[接続を切る] ボタンをクリックします。
通信が終了し、リモートアクセスは待機状態にもどります。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

ATコマンドの入力方法

ATで始まります。

パソコンからATで始まる文字列が送られると、自動的に通信速度とデータフォーマットを判別します。ATに続いてコマンドとパラメータを入力し、最後に キーを押す（CRコードを送る）と、コマンドが実行されます。

例 ATZ （ソフトウェアリセットを実行します。）

ATに続けてコマンドとパラメータを合計50文字まで入力できます。

ATと キー入力の際に、複数のコマンドを連続して入力できます。

コマンドとパラメータは最大50文字（CRは含まない、LFは省略可）まで入力できます。

例 ATZV0D001-0123

Zはソフトウェアリセット、V0はリザルトコードを数字に設定、D001-0123は「001-0123」にダイヤルを意味します。

ATコマンド設定一覧表

コマンドの後のnはパラメータを示します。

太字で表記されているパラメータは出荷時設定値を示します。

コマンド	機能	パラメータ	内容
A/	直前のコマンドを再実行 入力後に <input type="checkbox"/> キーは不要。	-	
AT	端末速度、データフォーマットを認識する	-	出荷時9600bps/8bit/ <input type="checkbox"/> リティなし
ATA	強制着信動作を行う	-	
ATDxxx	発信動作を行う	0～9 * / # L ;、V	電話番号 直前の電話番号を再ダイヤル ダイヤル終了後音声モードに移行
ATEn	コマンドエコーの設定 端末からモデムに送信したデータを、 端末にエコーバックさせます。	0 1	コマンドエコーなし コマンドエコーあり
ATHn	回線接続の制御	0 1 2	モデム - オンフック モデム - オフフック Escapeモードから通話モードに移行
ATIn	装置コード、ROMバージョンの表示	0 1 2 3 4	通信速度表示 ROMのチェックサムの表示 ROMのテスト結果の表示 ROMのバージョン表示 識別コード表示

コマンド	機能	パラメータ	内容
ATFn	公衆回線接続モード	0	自動検出
		1	V.21/BELL103 300bps
		3	V.23 75bps/1200bps
		4	V.22/BELL212A 1200bps
		5	V.22bis 2400bps
		6	V.32bis/V.32 4800bps
		7	V.32bis 7200bps
		8	V.32bis/V.32 9600bps
		9	V.32bis 12000bps
		10	V.32bis 14400bps
		ATOn	通信状態へ移行する エスケープモードからの動作を設定し ます。
ATQn	リザルトコードの設定	0	リザルトコードあり
		1	リザルトコードなし
ATSn	Sレジスタの表示、設定		レジスタ番号nが省略されたとき は、ATSnで設定したレジスタ番 号nが操作の対象となります。初 期状態ではn=0となります。
	ATSn=[設定値]	設定	
	ATSn?	表示	
ATVn	リザルトコードの表示形式を設定	0	数字形式
		1	単語形式
ATWn	CONNECTメッセージの表示 形式を設定	0	端末速度を表示
		2	回線速度を表示
ATXn	通信速度の表示、BUSY / ダ イヤルトーン検出の設定	0	通信速度表示なし、BUSY / ダ イヤルトーン検出なし
		1	通信速度表示あり、BUSY / ダ イヤルトーン検出なし
		2	通信速度表示あり、ダイヤルト ーン検出あり
		3	通信速度表示あり、BUSY検出あ り
		4	通信速度表示あり、BUSY / ダ イヤルトーン検出あり
ATZ	現在の設定を工場出荷時の設 定に初期化する	-	

コマンド	機能	パラメータ	内容
AT&Cn	CD信号の制御	0 1	CD信号常時ON CD信号は相手モデムのキャリアに従う
AT&Dn	ER信号の制御	0 2	ER常時ONとして動作する 通信中にERオン オフで回線切断
AT&F	現在の設定を工場出荷時の設定に初期化する	-	
AT&Kn	DTEポートフロー制御	0 3	なし RS/CSフロー制御
AT&Sn	DR信号制御	0 1	DR信号常時ON 通信プロトコルのシーケンスに従う
AT&V	ステータス情報 / 短縮ダイヤル	-	現在のステータス情報を表示する
AT≠Nn	動作モードの制御	0,1 2 3 4 5	バッファモード V.42/MNP自動切替リアブ ルオンモード V.42/MNP自動切替オートリアブ ルモード V.42リアブ ルオンモード MNPリアブ ルオンモード
AT≠Xn	MNPクラス10の設定	0 1	クラス10有効 クラス10無効
AT% Cn	データ圧縮方式の設定	0 1 2 3	なし MNP5 V.42bis V.42bis/MNP5自動切替
AT% Z	データ転送モードに移行	-	モード切替スイッチで切り替えたデータ転送モードと同様の動作をします。「+++」の送信、またはポートのクローズでモデム通信モードに復帰します。
AT^Rn	発信者番号表示 着信があった場合、相手側の電話番号を表示（相手側が発信番号通知をおこなっている場合のみ）	0 1	なし あり
AT^Sn	発信番号通知 発信する場合、電話をかけた相手側に自分の電話番号を通知	0 1	なし あり
+++AT	エスケープモードに移行 +++の前にはATは不要。		回線を接続したままコマンド入力可能になります。ATOコマンドで復帰します。

Sレジスタ設定一覧表

レジスタ番号	機能	設定範囲
S0	自動着信回数の設定	0～255 (0)
S30	アポートタイムの設定 (単位：10秒)	0～255 (0)

リザルトコード一覧表

数字形式	単語形式	意味
0	OK	コマンドが正常実行された
1	CONNECT	接続完了
2	RING	着信が検出された
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できなかった
7	BUSY	話中音が検出された
9	CONNECT 600	600bps接続
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
13	CONNECT 7200	7200bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
14	CONNECT 12000	12000bps接続
15	CONNECT 14400	14400bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
24	DELAYED	リダイヤルエラー

トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

Windowsでインストールできない場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されない場合はスタートボタン - コントロールパネル - システムと選択しデバイスマネージャータブをクリックします。

「その他のデバイス」の内に「U-Cable」が表示されている場合は「U-Cable」を選択して「削除」ボタンをクリックして一度削除します。その後「更新」ボタンをクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデム」の内に「U-Cable」が表示されている場合はすでにインストールは完了していますので本製品をご使用いただける状態になっています。

インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

Macintoshインストールできない場合

Macintoshを再起動して、マニュアルの「CCLファイルのインストール」を参照し、CCLファイルを再度インストールしてください

通信ポートが開けない又はU-Cableを確認できない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

機器を接続してドライバがインストールされているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器を接続するたびに機器が使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

通信時携帯電話がダイヤルしない又はダイヤルした後すぐ切断される場合

本製品が携帯電話と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

携帯電話のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。携帯電話から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、携帯電話の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回までに制限されています。3分以上たってからもう一度かけなおしてください。

電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

相手先が通信中（通話中）の場合があります。しばらくしてから再度かけ直してください。

データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください。

サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。

電波状態が悪いため、通信できない場合があります。携帯電話から通常に通話して、通話できることを確認してみてください。

インターネットに接続できない場合

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。

接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。

通信が安定しない

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。携帯電話の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。

電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直すか、バー表示が安定する場所に移動してご使用ください。

接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

通信速度が低く感じる

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。

自動着信できない場合

Sレジスタ0の値が0に設定されていないことを確認してください。0の場合は2などの値に変更してください。